

京成電鉄は行商列車

京成かわら版

K'SEI

発行 H27.8.30
 発行所 瑞基市立小野小学校
 編集 田倉井野
 印刷 佐藤染

とれたて新鮮野菜を食卓へ

現在では人数が少なくなりましたが、通勤列車に乗って更舟・堀切・町屋など東京に野菜を売りに行く行商の人たちが京成線を利用しています。

戦後、昭和30年代は行商専用列車が走りましたが、昭和50年代には専用列車が廃止され、普通列車に乗り換える行商が増えました。現在は通勤ラッシュに合わせた専用列車が走っています。

正時代。都心部を襲った関東大震災の直後からです。都心で不足した物資(野菜や餅)などを運ぶために行商列車(ばり車)が活躍したのです。佐倉・成田・八千代間に畑が多かったため、行商列車のピークを迎えました。戦後、生産量が減り、畑が減少し、行商専用列車がなくなり、通勤ラッシュに合わせた専用列車が走っています。

Q今日は何を売りに行くのですか。
 A野菜やお米です。

Qどこまで行きますか。
 A主に堀切・町屋・本線までです。

Q何軒くらいまわりますか。
 A売り先は決まっています。軒数が多いと1軒で済みます。

Q荷物は何くらいの重さですか。
 A40kg前後です。

行商のみなさんに
突撃取材!
 2015年8月21・28日

Q仕事で大変なことを教えてください。
 A大変なことは雨の日です。荷物を持って歩くのは大変です。お客さんとお茶を飲むことです。



ホームに設置された台で、出発まで作業しています。

Q毎日行商の人は来ていますか。
 A毎日来ています。月・水・金にきています。

Q何人くらい行商の人が来ていますか。
 A天候や水具合によりますが、10人前後です。

佐藤さんに質問!!

Q行商の人たちはどこから来ていますか。
 A成田・大和田・堀切・町屋などです。

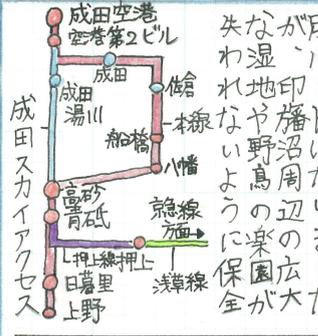
Q行商の人は古札から入場するのですか。
 A一般の乗客とは別の専用口から入場します。

Q利用客が多い駅はどこですか。
 A日暮里駅です。

とっても便利なスカイアクセス

京成電鉄では最速でスカイアクセス線(成田スカイライン)を建設中。成田スカイラインが完成すると、成田空港駅と日暮里駅を結ぶことができ、所要時間が大幅に短縮されます。

Qいつ頃かから行商をしますか。
 A40年前からです。昔は10人くらいでしたが、今は20人くらいになりました。



幹線とスカイアクセス線は、成田空港駅を結ぶ計画です。スカイアクセス線は、成田スカイラインとスカイアクセス線が完成すると、成田空港駅と日暮里駅を結ぶことができ、所要時間が大幅に短縮されます。



上りホーム後方に設置されている台

Q京成線と駅について、どう思いますか。
 A駅が利用客が安心して利用できるような仕組みがあります。

Q利用客が多い駅はどこですか。
 A日暮里駅です。



新型AE車、スカイアクセス線と同規格

成田スカイアクセス線は、成田空港駅と日暮里駅を結ぶ計画です。スカイアクセス線が完成すると、成田空港駅と日暮里駅を結ぶことができ、所要時間が大幅に短縮されます。



助役の佐藤さんと一緒に。

編集後記

今回は、行商の人たちの生活や、京成線の利用について取材しました。行商の人たちは、毎日大変な仕事をしていますが、笑顔で接客してくれています。京成線は、多くの人たちの生活を支えています。



AE100系 シティライナー